

平成25年度 各務原市社会福祉協議会 貸借対照表

平成26年 3月31日現在

一般会計

(単位：円)

資産の部				負債の部			
科目	当年度末	前年度末	増減	科目	当年度末	前年度末	増減
流動資産	219,362,265	290,444,055	△ 71,081,790	流動負債	14,047,088	31,109,689	△ 17,062,601
現金	70,000	70,000	0	未払金	14,033,662	29,747,850	△ 15,714,188
預貯金	186,681,717	246,232,120	△ 59,550,403	預り金	13,426	1,361,839	△ 1,348,413
未収金	32,562,770	44,126,997	△ 11,564,227	固定負債	66,685,822	61,209,364	5,476,458
貯蔵品	8,628	14,938	△ 6,310	退職給与引当金	66,685,822	61,209,364	5,476,458
立替金	39,150	0	39,150	負債の部合計	80,732,910	92,319,053	△ 11,586,143
固定資産	473,839,701	374,646,579	99,193,122	純資産の部			
基本財産	2,500,000	2,500,000	0	基本金	2,500,000	2,500,000	0
基本財産 特定預金	2,500,000	2,500,000	0	基本金	2,500,000	2,500,000	0
その他の 固定資産	471,339,701	372,146,579	99,193,122	基金	135,313,311	260,215,644	△ 124,902,333
車両運搬具	5,378,263	1,187,443	4,190,820	福祉基金	122,813,311	122,813,311	0
器具及び備品	3,904,396	2,571,519	1,332,877	財政調整基金	0	32,000,000	△ 32,000,000
土地	15,743,673	15,743,673	0	高額療養費 貸付基金	12,500,000	12,500,000	0
権利	76,440	76,440	0	介護財政 調整基金	0	92,902,333	△ 92,902,333
マイク料金預託金	8,220	8,220	0	その他の積立金	215,264,669	355,696	214,908,973
ソフトウェア	2,898,000	2,763,600	134,400	ボランティア活動備品等 購入積立金	362,336	355,696	6,640
貸付事業等 貸付金	1,007,000	1,035,000	△ 28,000	地域振興 積立金	62,000,000	0	62,000,000
高額療養費 貸付金	3,728,460	6,921,767	△ 3,193,307	法人運営 積立金	30,000,000	0	30,000,000
退職共済 預け金	15,474,307	14,242,627	1,231,680	介護運営積立金	122,902,333	0	122,902,333
退職共済 積立預金	85,042,962	79,524,950	5,518,012	次期繰越活動 収支差額	259,391,076	309,700,241	△ 50,309,165
福祉基金 積立預金	122,813,311	122,813,311	0	前期繰越活動 収支差額	309,700,241	284,114,668	25,585,573
財政調整基金 積立預金	0	32,000,000	△ 32,000,000	(うち当期活動 収支差額)	39,697,475	32,095,249	7,602,226
介護財調基金 積立預金	0	92,902,333	△ 92,902,333				
ボランティア活動備品等 購入積立金	362,336	355,696	6,640				
地域振興積立 金積立預金	62,000,000	0	62,000,000				
法人運営積立 金積立預金	30,000,000	0	30,000,000				
介護運営積立 金積立預金	122,902,333	0	122,902,333	純資産の部合計	612,469,056	572,771,581	39,697,475
資産の部合計	693,201,966	665,090,634	28,111,332	負債及び純資産 の部合計	693,201,966	665,090,634	28,111,332

脚注 1. 減価償却累計額 26,968,074 円

注記 1. 重要な会計方針

(1) 貯蔵品の評価法 個別原価法

(2) 退職給与引当金の計上基準 職員の退職金の支払に備えるため、当該会計年度末に在籍する全職員が自己都合により退職したと仮定した場合の退職金要支給額のうちの本会負担額を計上している。

(3) 平成19年3月31日以前に取得した有形固定資産については、耐用年数到来後は備忘価額(1円)まで5年で償却するものとする。